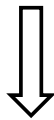


平成25年行政事業レビューシート							(環境省)	
事業名	事故由来放射性物質に汚染された一般廃棄物処理施設の解体・整備作業マニュアル策定事業		担当部局庁	復興庁		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度～平成27年度		担当課室	統括官付参事官(予算・会計担当)		参事官	大野 秀敏	
会計区分	東日本大震災復興特別会計		政策・施策名	復興施策の推進 東日本大震災からの復興に係る施策の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	放射性物質汚染対処特別措置法		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	汚染廃棄物の処理を行った一般廃棄物処理施設の事故由来放射性物質による汚染状況を把握し、一般廃棄物処理施設の解体・整備作業マニュアルを策定して、市町村等において適切な解体・整備作業が確保されるよう技術的支援を行う。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	処理している汚染廃棄物の放射能濃度や施設の種類ごとに一般廃棄物処理施設の汚染状況の調査を行う。また、既に解体・整備を行った市町村等があれば、その作業状況について聴取する。その結果を踏まえて、事故由来放射性物質に汚染された一般廃棄物処理施設を解体・整備する際に発生する部材の適切な処理の方法及び作業者の安全の観点から必要な措置について検討を行い、マニュアルとしてまとめる。事故由来放射性物質に汚染された一般廃棄物処理施設の市町村等による適切な解体・整備を促すため、マニュアルの配布や説明会の開催により、普及啓発を行う。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算				39	39	
		繰越し等				-	-	
		計				39	39	
	執行額							
	執行率(%)							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	マニュアルの策定・周知を目的とする事業であるため、定量的な成果目標は存在しない。		成果実績					
			達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	マニュアルの策定・周知を目的とする事業であるため、定量的な成果目標は存在しない。		活動実績 (当初見込み)			()	()	()
単位当たりコスト	(円/)		算出根拠					
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	環境保全調査等委託費	39	39					
	計	39	39					

事業所管部局による点検						
	項目	評価	評価に関する説明			
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	自治体等からの要請を受けて、国において網羅的に汚染状況を把握し、マニュアルを作成する。			
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○				
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○				
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	-			
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-				
	単位当たりコストの水準は妥当か。	-				
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-				
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-				
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-				
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-				
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-				
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	-			
	事業番号	類似事業名				所管府省・部局名
点検結果	<p>・委託契約について、競争性のある契約を実施するよう努め、効率的に事業を行っていくこととする。 また、調査については、放射性物質、汚染廃棄物等に関する専門性を確保し適切なマニュアルを策定するため、総合評価方式を採用する予定。</p>					
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
-	<p>引き続き効率性に留意しつつ予算の執行を進めるとともに、復興予算の効果を明確化する観点から、本事業の実施による具体的成果について今後の行政事業レビュー等の機会を通じて明らかにしていくこと。</p>					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
-	<p>引き続き効率的な予算の執行に努めていく。事業の実施による具体的な成果については、次年度以降の行政事業レビュー等で分かりやすく示していくことに努める。</p>					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年		平成23年		平成24年	
					25新-26	

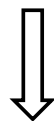
※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

復興庁
39百万円



環境省
39百万円

事業立案・とりまとめ
(事業発注者)



【総合評価入札】

A
39百万円

- ◇汚染状況調査
- ◇施設状況の調査
- ◇方策等の検討
- ◇専門家による検討会の開催

資金の流れ
(資金の受け取り
先が何を行っている
かについて補足
する)(単位:百万
円)